

星のたより

2025(令和7)年
6月号
Vol. 369

「コレクションシリーズ」スタート

～第1弾は「天文現象」～

2024年(令和6年)7月、さじアストロパークは登録博物館となりました。1994年7月のオープン以来30年以上にわたり、天体写真などの資料を撮りだめてきました。これらの資料を展示資料としてまとめ、皆さんに見ていただきたいと思います。第1弾は「天文現象」。定番の日食や月食はもちろん、22世紀まで見られない珍しい天文現象など、盛りだくさんでご紹介します。右の画像は、2012年6月6日に見られた「金星の太陽面通過」の様子で、21世紀最後の現象でした。次回は2117年12月10日から11日にかけて起こります。そのころはどんな世界になっているのでしょうか。

展示期間：6月18日(水)～11月30日(日)

入館料(高校生以上300円、中学生以下無料)でご覧いただけます。

イベント予告「七夕・星まつり」

～今年の星まつりは7月6日～

夏の恒例イベント「星まつり」。今年は「七夕・星まつり」として7月6日(日)におこないます。七夕の飾りつけをした後は、103cm大型望遠鏡や園地で星空の観察をしましょう。

日時：7月6日(日)13:30～21:30

詳しい内容は、公式HPをご覧ください。

イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。

公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆「第31回星景写真コンテスト入賞作品展」 6月15日(日)まで

2024年度に応募した「星と風景がいっしょに写った写真」コンテストの入賞作品展
さじアストロパークコレクションシリーズ①「天文現象」 6月18日(水)～11月30日(日)
1994年7月オープン以降、これまでに起こった様々な天文現象の写真などを展示

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク

第2部 テーマ番組「宇宙の疑問にズバリお答え3」 6月15日(日)まで
テーマ番組「キッツと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー」
6月18日(水)～9月15日(月・祝)

☆夜間観望会☆ ☆6月のテーマとおすすめ情報

月のクレーターを撮影	6(金)、7(土)
プラネタリウム番組「宇宙なんちゃらこてつくン プラネタリウム」	13(金)、14(土)、20(金)、 21(土)、27(金)、28(土)
天体観察「星の集まりM13」	
観望会で満天の星が楽しめる	14(土)～29(日)
観望会で月がよく見える	3(火)～11(日)

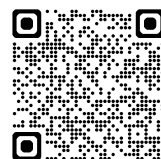
☆6月の休館日 2(月)、9(月)、16(月)、17(火)、23(月)、30(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

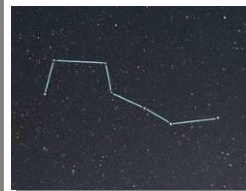
☆今月の豆知識☆
①パーセクっていう、星までの距離を表す単位について、前に紹介したことがあるけどみんな覚えてるかな。地球と太陽の平均距離を「1天文単位」っていうんだけど、1パーセクは、20万倍以上の距離になるんだよ。それでも「光年」で表すと3光年とちょっとぐらいだから、宇宙の広さに比べたらすごく近いね。



さじアストロパークの
ホームページはこちら



「星のたより」はこちら



1. プラネタリウム ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています
前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。テーマ番組は定期的に変更しています。

★後半のテーマ番組

春のテーマ番組【宇宙の疑問にズバリお答え3】は、6月15日まで

※この番組は、さじアストロパークのオリジナル番組です。

夏のテーマ番組【キッツと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー】

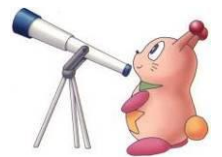
※猫たちと月に探検に出よう！ 6月18日より始まります。



© KWON O CHUL & Cho Hea Seung

2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会（天体観察会）

月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。金曜日と土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約ください。

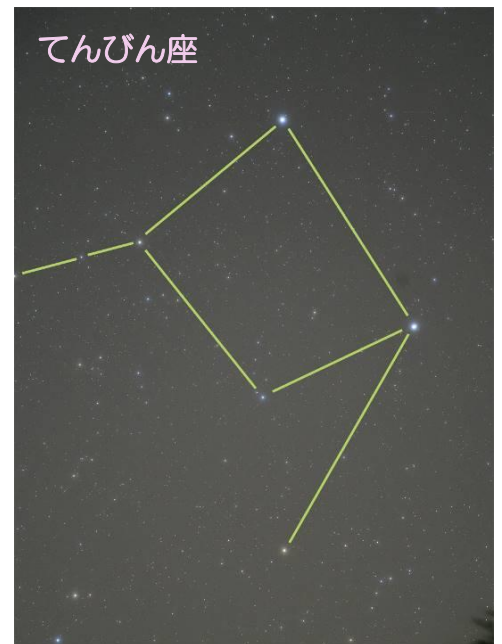


6月の星座と観察天体より

☆ てんびん座

てんびん座は、春の星座と夏の星座の境目にあります。今から3000～4000年前の秋分に、太陽がこの星座で輝いていて、昼と夜のつり合いを天秤の姿に表したと考えられています。ギリシャ神話では、正義の女神アストライアが、人の善悪を測るために使っていた天秤とされています。

てんびん座には明るい星がありませんが、おとめ座のスピカと、さそり座のアンタレスの中間あたりに、3つの3等星が大きな「く」の字を裏返したような形に並んでいます。春の星座のおとめ座と夏の星座のさそり座の間にあって、季節の境目の星座にあるのがわかると思います。



☆ 星の大集団・M13

球状星団は、数万から数十万個もの恒星が球状に集まった星の大集団です。特に中心部の星の密集しているようすは、球状星団ごとに違いがあって見比べると面白いです。

ヘルクレス座にあるM13は天頂付近にやってくるため、観察期間も長めです。大型望遠鏡での観察対象として、この時期の真っ先のおすすめ天体です。理想は、月明かりのない空気が澄んで気流が安定しているときには息をのむほどの美しさです。

距離 25100光年

明るさ 5.8等級



星座の探し方と注目星座

今、春から夏にかけての星座を見ることができます。今回は、見ておきたい星座を紹介します。

春の大曲線と春の大三角

北斗七星の柄の部分をつなぐと明るい星があります。「アルクトゥルス」です。これは「うしかい座」の星です。そして、さらにのびしていくともう1つ明るい星があります。「スピカ」です。これは「おとめ座」の星です。北斗七星からアルクトゥルス、そしてスピカを結ぶ大きな曲線を「春の大曲線」といいます。また、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカ、「しし座」の「デネボラ」を結んでできる大きな三角形を「春の大三角」といいます。デネボラが他の2つの星に比べると少し暗いのでちょっとわかりづらいかもしれません。



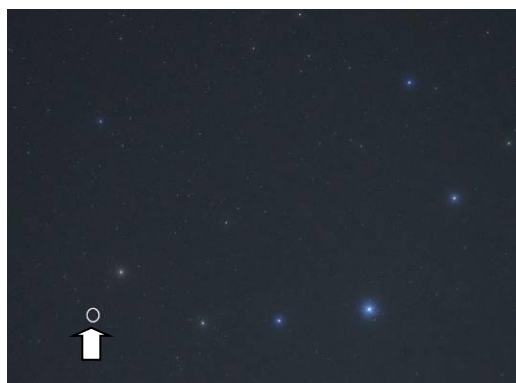
うしかい座



北斗七星の柄の部分をつなぐ先にあるのがアルクトゥルスです。この星が目じるしとなるのが「うしかい座」です。うしかい座を探すときの目じるしは「ネクタイ」です。左の写真を上下さかさまにすると、似ていると思いませんか？ 目じるしとなったアルクトゥルスには「熊の監視者」という意味があります。また、日本では「麦星」と呼ばれていました。その理由は、日本では麦刈りが始まる春の夕暮れに、このアルクトゥルスが頭の上に輝きます。そのことから麦星と呼ばれていました。

アルクトゥルスは、オレンジ色に輝く0等の明るい星です。ただ、温度は低く、約4000度しかありません(ちなみに、太陽は約6000度)。

かんむり座



かんむり座は、明るい星もなく目立たない星座ですが、去年頃から注目されています。それはかんむり座にある1つの星です。その星は「かんむり座T星」です(矢印の先、○で囲ったところ)。この星は、ふだんは10等級と暗い星ですが、2〜3等級と肉眼で確認できるまで明るくなります。この星は、およそ80年ごとに爆発による増光を繰り返しています。去年、明るくなるのでは、といわれていましたが、残念ながら明るくなりませんでした。もしかすると、今年明るくなったかんむり

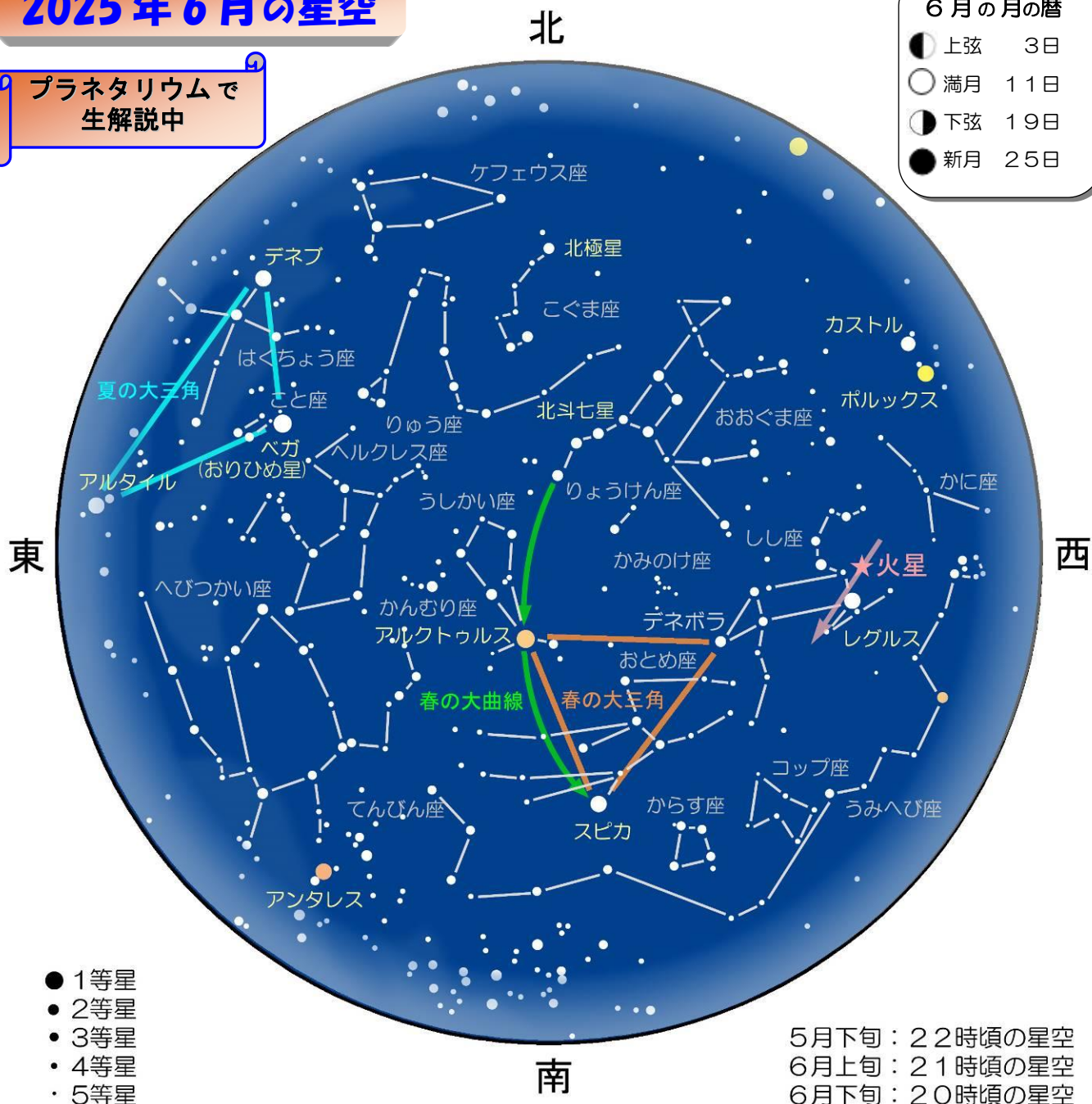
座T星を見ることができるかもしれません。かんむり座は、うしかい座の隣にあります。春の大曲線でうしかい座を見つけて、そこからかんむり座をさがしてみてください。

2025 年 6 月の星空

プラネタリウムで
生解説中

6 月の月の暦

- 上弦 3日
- 満月 11日
- ◐ 下弦 19日
- 新月 25日



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

5月下旬：22時頃の星空
6月上旬：21時頃の星空
6月下旬：20時頃の星空

☆6月は、なかなか天候に恵まれません、梅雨の合間の晴れ間は空気が澄んでいて観察のチャンスです。貴重な晴れの日にはぜひ美しい星空を見上げてください。

☆6月も空の主演は春の星座たちです。北の空の高いところを見上げ、明るい星が7つ並んだ「北斗七星」を見つけましょう。北斗七星は「おおぐま座」の背中からしっぽの部分です。おおぐま座のしっぽに沿ってカーブを描いていくと明るく輝く「アルクトゥルス」と純白に輝く「スピカ」が見つかります。さらにカーブを伸ばして「からす座」を見つけられるでしょうか。ゆがんだ台形は真っ黒なカラスを天に打ち付けた釘が輝いているようにも見えますね。東の空には1等星の「ベガ」を先頭に「夏の大三角」が出番を待っています。先月に引き続き、頭上に小さく光っている「かんむり座」にも注目です。英語では Blaze Star (火災星) ととも呼ばれる「かんむり座T星」が爆発しているかもしれません。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtube も開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp